

標 題 新たなタマネギ拠点産地を目指して栽培講習会を開催

(ダイジェスト)

8月19日、安来地域で新たにタマネギ栽培に取り組む集落営農法人や栽培に興味のある組織を対象とした栽培講習会を開催しました。

当日は8組織から17名の出席があり、タマネギ栽培の基礎等について学びました。

安来地域では大規模区画ほ場整備事業にあわせて設立された集落営農法人を中心に、タマネギ栽培が年々拡大しています。一方、タマネギ栽培の経験が浅く、栽培に不安を抱える法人も多いことが課題となっています。

このため、安来地域担い手育成支援協議会（会長：安来市長）の主催により、タマネギ栽培技術の向上を図るため、8組織17名の参加のもと、講習会を開催しました。

この講習会では、最新のセル育苗、定植、雑草対策などに関する栽培の基礎知識から、病虫害防除体系、土壌分析、機械レンタル制度、各種補助事業の紹介など幅広く法人へ情報提供を行いました。

栽培概要の講義では、農業技術センター水田園芸技術普及課から「タマネギ栽培の基礎」と題して品種、作型に始まり、収穫、貯蔵・乾燥までの一連の作業体系について基本的な技術紹介に加え、JAしまねやすぎ地区本部から、病虫害防除体系、安来農業部から土壌分析等について、産地支援課から拠点づくり事業等の説明を行いました。

今後も安来農業部では、関係機関と連携し、タマネギ栽培の定着と新たなタマネギ拠点産地づくりを強力に推進していきます。



栽培の基礎についての説明



防除体系についての説明